

科目名	都市・地域計画 Urban and Regional Planning			担当教員	今岡 芳子		
学 年	4 年	学 期	通年	科目番号	09511	単位数	2
分 野	専門	授業形式	講義	履修条件	必履修		
学習目標	都市計画・地域計画における基本的事項及び都市交通、都市施設などの知識を身に付け、さらに都市・地域計画に関わる土木計画学について習得することで、総合的な観点から都市・地域計画について理解をする。						
進め方	配布するプリントを中心に講義を行うが、適宜、スライドでの事例紹介や事例調査などを取り入れ、理解を深める。またレポートを始めとする演習課題によって知識の定着を図る。						
学習内容	学習項目（時間数）			合格判定水準			
	1. 都市・地域計画に関する基本的事項(9) (1) 都市基本計画 (2) 土地利用計画 (3) 市街地開発事業 2. 都市交通計画(6) (1) 都市交通の種類・交通機関等の概要 (2) 起終点調査、交通量調査、交通需要推計 [前期中間試験] (2) 試験返却			・都市・地域計画に関する基本的事項を理解し、説明することができる。 ・都市交通計画に関して、その概要を理解し、交通調査の方法と交通輸送量の推計について説明できる。			
	3. 都市施設の計画(9) (1) 都市施設の種類 (2) 各種都市施設の計画方法 4. まちづくりと地域生活空間計画(6) (1) 交通と福祉のまちづくり (2) 都市の景観 (3) 都市の防災計画 前期末試験 試験返却			・各都市施設の種類を説明でき、その計画方法について理解する。 ・地域におけるまちづくりの取り組みを、多角的な面から理解し、その必要性を説明できる。			
	5. 土木計画学の定義と調査分析(15) (1) 土木計画学の定義と意義 (2) 計画課題の発見と整理 (3) データの統計処理と分析 [後期中間試験] (2) 試験返却			・土木計画の位置付けと意義について説明することができ、計画における調査方法を身につけることができる。 ・調査データの統計処理を確率・統計的手法を用			
	6. 土木計画の予測と評価(15) (1) 計画の予測 (2) 計画における代替案の作成 (3) 計画の評価と利害調査 後期末試験(2) 試験返却(1)			・各種予測方法、計画の評価方法について、数理計画手法により理解することができる。			
評価方法	4回の定期試験を80%、演習や課題への取り組みとその内容を20%で評価する。 各項目1～5の重みは、15%、10%、15%、10%、25%、25%とする。						
学習・教育目標との関係	本科目は、「建設工学コース」の学習・教育目標のうち、(B-2)「土木工学の基礎知識」に関するプログラム必修科目である。土木工学の一分野として、都市計画・地域計画に関する十分な基礎知識を身に付ける。						
関連科目	都市・地域計画（4年） └─→ 都市地域計画特論（5年） └─→ 工学演習Ⅲ（5年）						
教 材	配布プリント、スライド 参考書：川上 光彦(2008)：都市計画，森北出版 脇田 祥尚(2009)：みんなの都市計画，理工図書 樗木 武(2001)：土木計画学 第2版，森北出版株式会社。 秋山 孝正,上田 孝行(2008)：すぐわかる計画数学 第8版，株式会社コロナ社						
備 考	多くのプリントを配布するため、各自で管理をすること。						